秋田

拠点名　：　**秋田産学官共同研究拠点センター**

全体構想：　秋田県が「秋田県科学技術基本構想」および「研究開発分野の重点化方針」で重点的に研究を推進する‘環境・新エネルギー分野’と秋田県が鉱山都市として培ってきた県内企業および秋田大学等研究機関の鉱山関連技術をはじめとする資源・環境・リサイクル技術を勘案し、当該研究拠点では下記の３つを重点項目として実施する

①環境リサイクル技術の強化と資源安定供給力強化

②県内各産業における環境リサイクル技術の普及および地域資源を活用した環境配慮型生産システム・新商品の開発

③秋田産学官ネットワークの整備

これらの重点項目に基づいた研究により、資源・環境・リサイクル技術の総合研究拠点の一翼及び高度人材育成拠点を目指す

期待される地域活性化

当該拠点の活動により、秋田県の産学官が連携して技術や人材を有機的に結合し、地域として特色ある共同研究や先進的研究を起爆剤として、県内企業の体力・技術の向上や新たな産業育成をはかる。結果、地域の大きな課題である人口減少や産業構造の改善等を行うとともに、世界から注目される「資源・環境・リサイクル」分野の総合研究拠点を目指し、結果地域産業の活性化をはかるものである。

主な共同研究開発課題

＜資源＞

○レアメタルを含む廃棄物からの有用金属の回収研究　○超分子を用いた新規レアメタル抽出剤の研究開発

○廃棄物、鉱石ズリなど未利用資源からの有用資源回収研究　○未利用もしくは廃棄されている天然資源からの有用物質検出およびスクリーニング研究　○バイオマスエネルギーの有効利用研究　○油田地域の貯留岩の孔隙性状検討による石油回収率向上研究

＜環境＞

○環境問題となっている余剰汚泥の減量化システムの構築　○鉱物を含む排水が周囲環境に与える影響評価ツールの開発　○自動車排ガス浄化用触媒の開発　○新規な分岐構造をもつ燃料電解質膜用高分子の研究開発　○THz 帯の電磁波を用いた有害物質可視化技術開発

＜リサイクル＞

○稲わらや杉間伐を活用した牛の粗飼料開発研究　○もみ殻等木質系バイオマス由来高機能活性炭のエネルギー貯蔵材料の開発

提案機関：　官：秋田県

学：国立大学法人秋田大学

産：秋田県商工会議所連合会

参画機関：　公立大学法人秋田県立大学

独立行政法人国立高等専門学校機構　秋田工業高等専門学校

運営体制：　◎事業運営委員会

委員長　　佐々木　昌良（秋田県　企画振興部長）

委員　　吉村　昇　　（国立大学法人　秋田大学　学長）

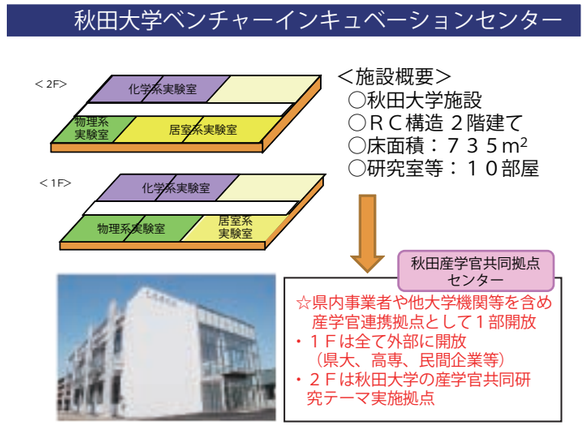
委員　　岩本　孝一　（秋田県商工会議所連合会　常任幹事）

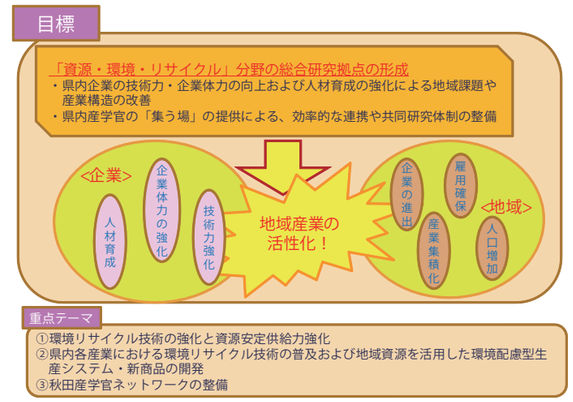
委員　　新岡　嵩　　（公立大学法人　秋田県立大学　副学長）

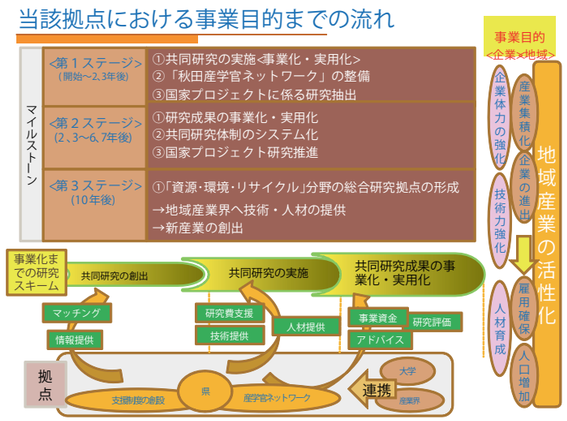
委員　　上松　仁　　（独立行政法人国立高等専門学校機構秋田工業高等専門学校　地域共同テクノセンター長）

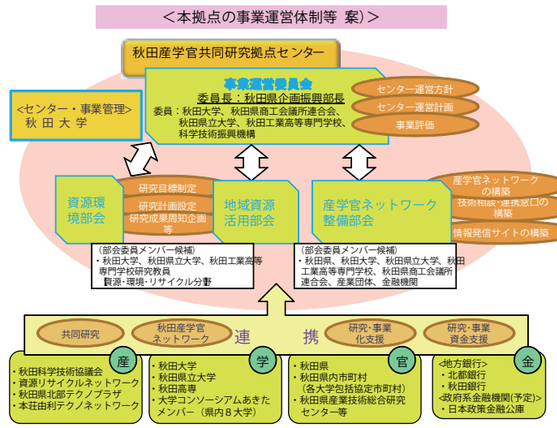
拠点事務局　小川竜二郎（機関・役職：国立大学法人　秋田大学　准教授）

秋田県秋田市手形学園町１－１　国立大学法人秋田大学産学連携推進機構　Tel.０１８－８８９－３００２









高分解能核磁気共鳴スペクトル装置（６００MHz）

超高分解能電界放射型走査型電子顕微鏡

秋田大学ベンチャーインキュベーションセンター外観

四重極 - 飛行時間型 MS/MS 分析システム

環境
エネルギー
産学連携一般